

(様式 1)

# 自己評価票

## 【自己評価の意義・目的】

- 自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことにより、サービスの質の向上を図るシステムの1つです。
- サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や第三者評価、苦情解決制度や権利擁護制度、さらには、アンケート調査等による入居者からの声の反映、オンブズマン機能などが相まって実施されることにより達成されるものです。
- この自己評価の結果を公表することにより、入居者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

記入年月日	平成 21 年 1 月 15 日									
法人名	ラポール会									
代表者(理事長)名	辻 君子									
介護保険事業所番号	2	7	7	0	7	0	1	0	4	7
サービスの種類	◀認知症対応型共同生活介護 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所									
	▶介護予防認知症対応型共同生活介護 ・ 介護予防小規模多機能型居宅介護事業所									
事業所名称	くみのき苑グループホーム千寿									
事業所所在地	河内長野市木戸2丁目33-5									
記入担当者職・氏名	(職) リーダー (氏名) 東向 美種									
連絡先電話番号	0721-50-1151									

## 自己評価項目構成

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### V. サービスの成果に関する項目

## 【自己評価の実施方法】

- 運営者(法人代表者等)の責任の下に、管理者が従業者と協議しながら実施してください。
- 「評価項目」ごとに評価をしてください。
- その判断した理由や根拠のポイントを記入してください。
- 少なくとも、年に1回は自己評価を実施してください。
- 優れている点や改善すべき点などの特記事項についても、別途、記録しておいてください。
- 改善すべき事項については、改善のための計画(任意様式)を作成してください。
- 入居者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように、利用申込者又はその家族に交付する重要事項説明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどし、評価結果を積極的に公表してください。
- 評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	【地域の中で当たり前暮らし】と【人間の尊厳を大切に】を理念としている。	○	理念をもう少し具体的にし、全職員が理解しやすく、実行しやすい内容に変えていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を、全職員に年度初めの全体会議で話で説明し、理念を周知してもらっている。理念を基に、事業計画をたてているが、今年度は実施出来ていない。	○	特に新人職員に周知してもらって、入職研修にカリキュラムに組み込んでいる。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、入居者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	平成19年より自治会に加入し、自治会議や自治会行事に参加し交流を図るようにしている。	○	近隣住民が気軽によって頂ける様な行事等、取り組みを考えていきたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出時に近隣の方に対しての挨拶を心がけている。	○	自治会への加入や施設や入居者への関係作りに取り組んでいる中で、次の段階として、気軽に立ち寄って頂ける関係を目指した取り組みをしたい。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入することが、近隣住民の方との交流の場とし、地蔵盆・秋祭り・もちつき大会などに参加している。	○	入居者と地域の方との関係のパイプラインになれる様に、まずは、全職員が地域の方に覚えて頂く必要がある為、地域の掃除や夜警等、に参加していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献  入居者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	自治会行事に参加した際に、認知症についての相談や、介護保険について等の話している。	○	左記の事を継続していきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果表を全職員に伝えているが、全ての事を具体的に改善策を立てて取り組めていないが、日誌の記入方法を完結に記入できるように変更した。	○	今後も負担が軽減出来、尚且つ効率よい方法等あれば検討し変更していく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、入居者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日ごろの様子や行っているケアを話すも、家族様からの意見があまり出ていない。出た意見に対して、その場や会議で話し合い、朝礼で職員やリーダーに伝えている。	○	家族、地域の方々が意見が出やすい雰囲気作りやテーマを考えて行きたい。
9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所での会議や勉強会に参加している。	○	左記の事を継続していきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要に応じて支援する様にはしているが、勉強会等は開催していない。	○	外部研修に参加した職員から、参加できなかった職員に対してフィードバック研修を行ってきたい。
11	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、入居者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	他施設での出来事や、新聞・テレビなどの情報は朝礼で報告したり、書面にて配布している。	○	グループホーム内で起こりうる虐待や認知症高齢者の事象事例等を用い研修会を行いたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、入居者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必要事項は、読み上げて説明をしている。不明点や不安な点があれば、いつでも相談頂ければと、家族様にて伝えている。	○  左記の事を継続していきたい。
13	○運営に関する入居者意見の反映  入居者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活での入居者が何を望んでいるか意見、不満、苦情に耳を傾けるように指導している。出た意見は必ず上司に報告し日誌にそういう内容があれば上司も入居者と話す機会をつくっている。	○  左記の事を継続していきたい。
14	○家族等への報告  事業所での入居者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理や受診前後等、個々に報告している。	○  左記の事を継続していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関、各階に、意見箱を設置している。頂いた意見を苦情受付表に記入し果然さくを考え、各階に伝えている。	○  左記の事を継続していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	常時もしくは必要に応じて意見や提案を聞く機会を設けている。	○  左記の事を継続していきたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  入居者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	基準を満たすように、話し合い、勤務調整は行っている。	○  左記の事を継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、入居者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動については、職員の性格や入居者の方への相性等考え、最小限の異動にしてる。	○	左記の事を継続していきたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人が、自分の目標を定め、個々の課題に意欲的に取り組みことで、能力開発を目指し、人材育成につとめている。内部研修や外部研修があれば、積極的に参加できる様にしている。	○	左記の事を継続していきたい。
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	当施設でグループホームの勉強会を行い、他のグループホームの方たちと交流する機会を設けている。地域ネットワーク会議にも参加してる。	○	左記の事を継続していきたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者、リーダーは、定期的に4ヶ月に1回、話が聞ける様に面接をおこなっている。	○	左記の事を継続していきたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年に2回人事考課を行い、それを基に面談をおこなっている。その際に目標を立ててもらったり上司から提案したりし、取り組んでもらっている。	○	左記の事を継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族から何度か事前に話を聞かして頂き、面接時や見学時に、本人にも聞く機会を作っている。	○  左記の事を継続していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学、面接の際や契約時に聞かせて頂いている。随時、電話にて受け付けている事も伝えている。	○  左記の事を継続していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回面接時に、本人の状況、ご家族の状況を聞き必要な支援を検討している。	○  左記に同様、支援していきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の入居者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まず、必ず本人が可能な限り、一度見学か遊びに来て頂く様に声はかけている。	○  入居されるまでに、家族と本人の時間と身体的負担のない範囲で、何度か来苑して頂きながら、他の入居者とも、コミュニケーションが図れるようなことも考えていきたい。ショートステイも活用していきたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	多忙な時には、一方的にお願いしたりしている時もある。一緒に過ごしながら、本人の出来ることを、見極め、教えて頂いたり、お手伝いをして頂いたりしながら、支え合う関係作りに努めている。	○  本人の出来る事を、教えて頂いたりしながら、全職員が支えあう関係を意識するよう指導していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来苑された時など、ご家族の思いを傾聴し、本人の様子を報告している。また、食事会などに、お誘いし一緒に食事作りをしたりしている。	○	気軽に声を掛けてもらえる様にし、ご家族の思いを聞ける様にしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族と本人の、これまでの関係を理解し、行事などに参加して頂き、一緒に過ごせる時間を設けたり、ご家族が心配しておられる事については、安心して頂ける様、声を掛けている。	○	不安や心配に思っておられる事については、特に詳細に様子を伝えていくようにしたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切な人たちとの関係が途切れないように、支援したいが、実際、身近な家族だけになっている。また、その為の、情報収集もできていない。また、家族の反対もあり、馴染みの場所へも行けていない。	○	ご家族に理解をもらえる様に説明し、もっと情報収集をし、気軽に遊びに来て頂けるようにしていきたい。また、その中で、馴染みの場所も拾い上げ、一緒に外出できるようにしていきたい。
31	○入居者同士の関係の支援  入居者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに入居者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の会話に職員が入ったり、外出時、誘い合ったりしている。	○	居室で休まれている方や、食事の声かけなどを職員と一緒にいたりしながら、少しでも多くの関わりがもてるようにしていきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする入居者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了した方が、遊びに来て下さった時には、ゆっくり過ごして頂けるようにしている。	○	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや希望は、関わりの中で知るようにしている。また、本人の思いは、選択できるようにしている。	○ なかなか、十分な把握が出来ていないと思うので、知り得た情報を全て残せるように、記録を残すようにしていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人記録に、今までの生活歴を記入して、その人らしい生活を心掛けているが、十分な情報ではない。	○ 日々の関わりの中で、疑問に思ったりしたことなどは、直に、家族からの情報を得るようにしていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの、その日の心身状態を把握し、職員同士が確実に周知できるように、申し送りを行い、記録に残すようにしているが、記入されていない時もあり、経過が見れていない。	○ 申し送り、記録が残せていない時もあるので、徹底していきたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる入居者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月2回のケアカンファレンスを行い、ご家族に聞いた情報と関わりの中で挙がってきた情報を提供しあい、作成している。	○ ケアカンファレンスを行う際、今以上に本人につながる情報を収集し、得られた情報を反映できる介護計画にしていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた見直しを行いながら、心身ともに、変化が生じ、必要性がある時は、新たな介護計画を作成している。	○ 入居者の状態変化が起こった際、瞬時には介護計画が見直せていない時もあるので、時期をある程度考えて見直していきたい。



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子だけの記録になっている。ケアの記録については、ほとんど、できていない。	○	ケアの実践について、具体的にし、結果や気づきについては、ケア記録に確実に記入していくよう指導していきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人本部の行事に参加したり本部のデイサービスに参加している。	○	今後も入居者の希望があれば参加していく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事に積極的に参加をしている。また、年2回避難訓練を消防署の協力を得て実施している。	○	左記の事を継続していきたい。
41	○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービス事業者と相談し情報を得てサービスの向上に努めている。（訪問散髪等）	○	左記の事を継続していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	家族の希望が現在ない。	○	今後、希望があれば迅速に対応したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	ご家族に現状や必要性について話していき、身体の必要に応じて、HPへのしていきたい。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、入居者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	その為の申し送りノートも有るが記入されていない事も有るので、記入するよう指導していきたい。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>入居者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	看護婦への入居者の状態や気になる点を、職員によって、きちんと伝えていない時がある為、得て感じた情報は、完璧に伝えられる様にしたい。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>入居者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	左記に同様、継続していきたい。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	少しの変化にも気付けるようにしていく中で、家族や医師への連絡、相談をしていくようにしていきたい。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の入居者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	定期的に確認しあい、新人職員にも指導していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ケア関係者で話し合いをしてくれている。現場のほうでも、口頭やサマリーを利用している。	○	左記に同様、継続していきたい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりを尊重し、ゆっくりとした対応と誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや、行為はしない様指導している。	○	出来ていない時もあるので、徹底していきたい。
51	○入居者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者とゆっくり関わりあいながら、本人の思いや希望を言えるように、その人に合わせた説明をさせてもらい、自分で決めたり、納得しながら暮らせるように支援をしているが、多忙な時など、ゆっくりと関わっていない時もある。	○	多忙な時こそ、他の職員と連携をとり、場所を変えるなど工夫し、ゆっくりと関わるようにしていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合を優先する事はないが、全入居者に対してまでは、できていない。	○	全入居者に、短い時間であったとしても、一日に一回は有意義な時間を過ごして頂けるよう支援していきたい。
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	服を選んで頂いたり、お化粧品のお手伝いをさせて頂いたりしたりしながら支援しているが、本人の望む店には、行けていない。	○	月に1回でも、ゆっくりと外出ができる日を作り、その中で行けるようにしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、入居者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <p>一人ひとりの好みを知り、入居者の出来る範囲でのお手伝いをして頂いている。</p>	○	<p>食材を提供し、一緒に献立を考えたりもしていきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>飲酒をされる方には、対応の仕方や量などについても、話し合ったが、徹底できていない。煙草を吸われる方には、その時々に応じて場所を提供している。</p>	○	<p>飲酒時の徹底した対応と、喫煙時の周りの方への配慮をしていきたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> <p>個人の排泄パターンを過去の排泄表から知り、時間を決めて声掛けをしたりして、気持ちよく排泄出来るように配慮、支援している。</p>	○	<p>排泄前の合図(癖)なども、見るようにしている。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> <p>昼食後から20時頃にはなっているが、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、ゆっくり入浴を楽しめるように支援している。</p>	○	<p>本人の状態に合わせて、フロア以外での入浴なども考えていきたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> <p>起床、就寝時間を決めずに、本人の意思を尊重している。</p>	○	<p>気持ち良く入眠や休息してもらえる様に、個人的なケアを具体的に決めて、行っていきたい。</p>
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> <p>本人の得意な事など教えて頂いたり、地域の行事、また、本人の興味のある催しなどに行き気晴らしの支援をしている。</p>	○	<p>職員によって、出来て無い事もある為、継続して行える様にしていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	2階では、4人の方が、お金を所持し、ご自分で払うと言われた時には、使えるよう支援している。	○	お金を所持したい無い方にも、買い物時などに施設の立替えたお金で支払ってもらえる機会を作りたい。
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩など希望の有る方は、外に出かけられるように支援している。	○	職員のメンバーや理解の差で、入居者から希望が無いと、職員側から声を掛けていない人がいてる。どんな時でも、職員から、声を掛けていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の入居者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠足などの機会を設けている。	○	月に1回でも、ゆっくりと外出ができる日を作り、その中で行けるようにしていきたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話をしたり、要望があれば、職員を通じ、いつでも電話をしたりしている。	○	自分で訴えない方にも、積極的に支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来られたら、必ず職員からあいさつする様に指導している。楽しい一時が過ごせるように、飲み物など出したりしている。	○	職員によって、家族や来客者に緊張してしまい萎縮している面がある為、職員が馴染める様にしていきたい。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わない様に努めている。家族や命に関わる状態の場合、ベットセンサーや鈴など使用している。	○	職員の質を向上し、見守りケアの中で、入居者に自由に生活してもらえる様にしていきたい。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	職員によって所在確認が不十分な時がある為、徹底していきたい。
67	<p>○入居者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して入居者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	所在不明になる事のないよう、日勤者席を離れる事のないよう、また、離れる時は、他の職員と連携が取れるようにしていく。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	危険な時には、必ず職員が付き添うようにする。
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	左記に同様、継続していきたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>入居者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	左記に同様、継続していきたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず入居者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	左記に同様、継続していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	本人の現状を報告し、リスクや予防策を説明して いる。	○	対策が活かしきれてない所がある為、実行がきち んとできる様にしていきたい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努 め、気付いた際には速やかに情報を共有し、 対応に結び付けている	毎朝、バイタル測定を行い体調の変化や異変があ れば、速やかに情報を共有し、看護師、上司に連 絡している。	○	職員一人ひとりが体調の変化や異変に迅速に気付 けるようにし、報告、連絡、相談を密に取って いく様指導する。
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理解して おり、服薬の支援と症状の変化の確認に努 めている	個人の薬袋に、薬名、効能、用量、用法は、記 入していているが、全ての薬について把握 できているとは言い切れない。また、変更 や中止の時には、個人記録に状態の変 化がないか記入するようにしている。	○	薬については、全職員が理解できるように していきたい。
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理 解し、予防と対応のための飲食物の工夫 や身体を動かす働きかけ等に取り組んで いる	便秘予防の対応として、野菜を多く取り 入れ、水分を十分に摂るよう取り組んで いる。	○	身体を動かせるように、散歩などに誘 ったりして、働きかけていきたい。
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に 応じた支援をしている	毎食後、歯磨きの声掛けをしたり、 歯磨きをお手伝いしたりしている。	○	拒否された方に対して出来ていない 事もあるので、ゆっくりと関わりな がら支援していきたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が 一日を通じて確保できるよう、一人 ひとりの状態や力、習慣に応じた 支援をしている	職員が野菜を多く取り入れられる ように工夫し、献立を作り摂取量 は個人記録に記録するように している。	○	偏ったメニューになっているので、 工夫していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	職員が研修で学んだことを、会議を通して勉強会を行い、職員で共有して実行している。疥癬、肝炎、MRSAは、個別で対応している。	○	左記に同様、継続していきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具などの消毒は夜勤者で行っている。又食材は二日で使い切るよう心掛けている。	○	左記に同様、継続していきたい。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 入居者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の横に畑を作ったり、木製のベンチを置いたりしている。	○	左記に同様、継続していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、入居者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンなどで、採光には、気を付けているが、音に対しては、耳の遠い方もいる為、対応できていない時もある。	○	季節の花を飾ったりしていきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った入居者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファなどを置き、思い思いの時間を過ごせるようにしている。	○	リビングにある和室の活用を検討していきたい。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室では、使い慣れたものを持って来て頂くよう、ご家族に説明し置くようにしている。</p>	○	<p>左記に同様、継続していきたい。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、入居者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>共有の場所では、定期的に換気を行い、居室は朝に換気を行う。また、個人で、エアコンを操作される方については、時々、訪室し温度調節を行っている。</p>	○	<p>においては、上司のほうから何度か指摘をうけている。換気や消臭剤を置いたりして配慮している。</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>使いたい物が、すぐに使えるよう、手の届く所に置いたり、安全かつ自立した生活が送れるようにすべり止めをひいたり、カバーを付けたり工夫している。</p>	○	<p>本人の能力を把握しているが、生活の中で、その時々に応じて、本人の能力にあった状況に、職員が前もって工夫できる様にしていきたい。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>時計、日めくりカレンダー、表札などを設置している。</p>	○	<p>分かりにくい物には、表示するようにしていく。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを入居者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>玄関横に、畑を作り、水遣りや収穫をしたりしている。</p>	○	<p>ベランダを利用し、お花を植えたりしていきたい。</p>

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、入居者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての入居者の ②入居者の2/3くらいの ③入居者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	入居者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	入居者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての入居者が ②入居者の2/3くらいが ③入居者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	入居者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての入居者が ②入居者の2/3くらいが ③入居者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	入居者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての入居者が ②入居者の2/3くらいが ③入居者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	入居者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての入居者が ②入居者の2/3くらいが ③入居者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	入居者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての入居者が ②入居者の2/3くらいが ③入居者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、入居者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての入居者が ②入居者の2/3くらいが ③入居者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、入居者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)